

令和7年度「世界エイズデー」の実施について

- 「世界エイズデー（12月1日）」は、エイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的に、1988年にWHO（世界保健機関）が提唱、1996年からUNAIDS（国連合同エイズ計画）もこの活動を継承しています。

国内においても、この趣旨に賛同した啓発活動が全国的に実施されます。

- 今年度のキャンペーンテーマは

“「**U＝U 検出されない＝性感染しない**」”になります。

「U＝U」とは治療により血液中のウイルス量が検査で検出できない（Undetectable）程度に低下、維持できていれば性行為によってHIVが感染することがない（Untransmittable）という意味で、この「U＝U」という言葉をより一層浸透させることで、もう一度HIVとエイズのことを皆で考えてみましょうというメッセージが込められています。

- 県内では12月1日を中心に、各種啓発活動の他、**各保健所でのHIV即日検査等を拡充**して実施します。保健所の検査は予約制で、無料・匿名で受検可能です。令和3年から全国的に患者増加が続いている梅毒についても無料・匿名で検査を実施していますので、同時に受検されることをお勧めします。詳しくは、各保健所へお問合せください。

HIV／エイズ（AIDS）について

- エイズは、「後天性免疫不全症候群」ともいい、HIV（エイズの原因ウイルス）に感染することによっておこる病気です。

- HIVに感染してから2～3週間すると、風邪のような症状がでます。このような症状が数日～10週間ほど続いた後、ほとんどの場合は自然に消えてしまいます。その後、数年～10年間ほどは何も症状はありませんが、体の中でHIVがひそかに広がり、何も治療をしないとさらに進行、微熱や下痢が続いたり、リンパ節の腫れや、肺炎などを起こします。

このような状態になると「エイズを発症した」「エイズになった」といいます。

- 感染経路は、①性行為、②血液を介しての感染（注射器具の共用など）③母子感染の3つです。

■ 検査と治療

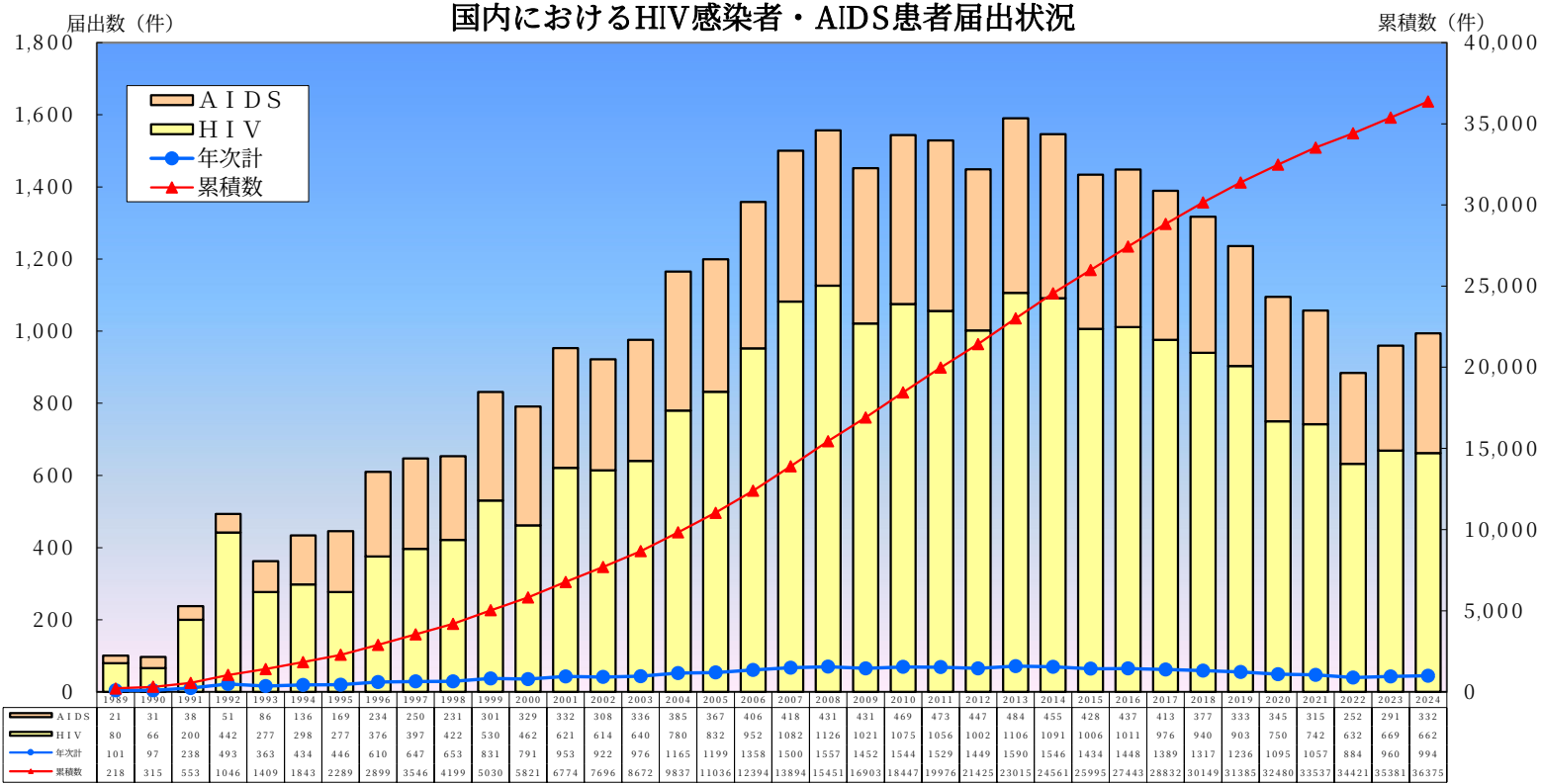
- ・検査：保健所で無料、匿名で受検できます。県内11医療機関でも受検できます。
- ・治療：治療薬の進歩により、現在エイズはコントロールできる病気になりました。検査の結果、たとえHIVに感染していても、早期に発見し適切な治療を始めれば、エイズの発症を回避することができます。

■ 予防

HIV感染の約80%は性行為によるもので、コンドームを正しく使用することで予防できます。また、性行為前に薬を飲み感染リスクを下げるという方法もあります（PrEP（プレップ））。

国内におけるH I V感染者・エイズ患者届出状況

・2024年届出数は、HIV 662件、AIDS 332件（累計36,375件）



沖縄県のH I V／エイズ状況

(2025年10月26日時点)

1. 2024年 新規 HIV感染者／エイズ患者報告数 (上位10位の自治体)

a. HIV感染者上位自治体

	自治体	報告数		自治体	人口10万人対
1	東京都	227	1	東京都	1.60
2	大阪府	63	2	大阪府	0.72
3	愛知県	47	3	福岡県	0.71
4	神奈川県	41	4	岐阜県	0.68
5	福岡県	36	5	栃木県	0.64
6	北海道	29	6	愛知県	0.63
7	千葉県	19	7	北海道	0.58
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
24	沖縄県	4	25	沖縄県	0.27

2024年 人口10万人対の報告数

沖縄県は

・ HIV感染者
全国25位 (0.27人)

・ エイズ患者
全国2位 (0.48人)

b. エイズ患者上位自治体

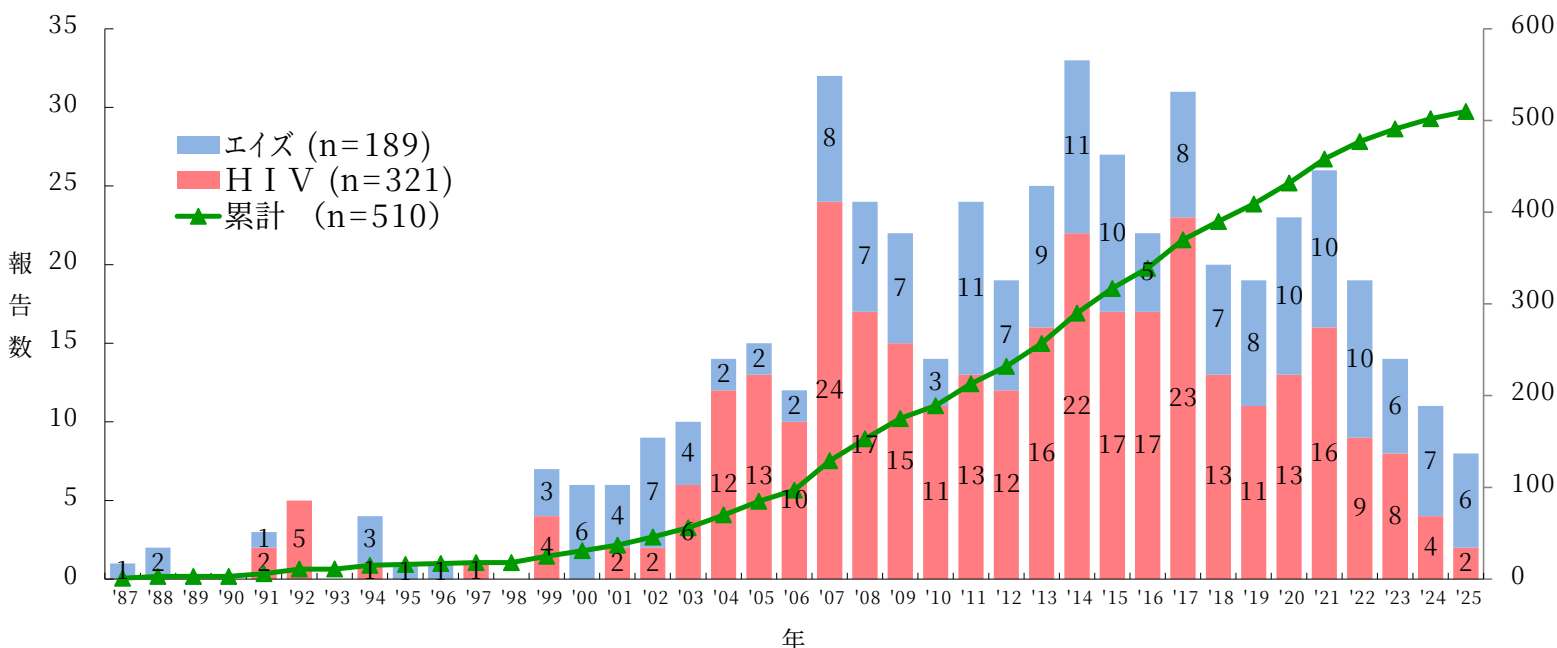
	自治体	報告数		自治体	人口10万人対
1	東京都	63	1	高知県	0.61
2	大阪府	28	2	沖縄県	0.48
3	神奈川県	23	3	東京都	0.44
4	愛知県	22	4	茨城県	0.43
4	福岡県	20	5	栃木県	0.42
6	埼玉県	16	6	福岡県	0.39
6	千葉県	16	7	佐賀県	0.38
⋮	⋮	⋮	8	和歌山県	0.34
⋮	⋮	⋮	9	大阪府	0.32
12	沖縄県	7	10	長崎県	0.32

沖縄県は平成18年度より重点的に連絡調整すべき都道府県等に選定されています

出典：令和6年（2024）エイズ発生動向（厚生労働省エイズ動向委員会） 一部改変 <http://api-net.jfap.or.jp/>

2. HIV感染者／エイズ患者の届出状況

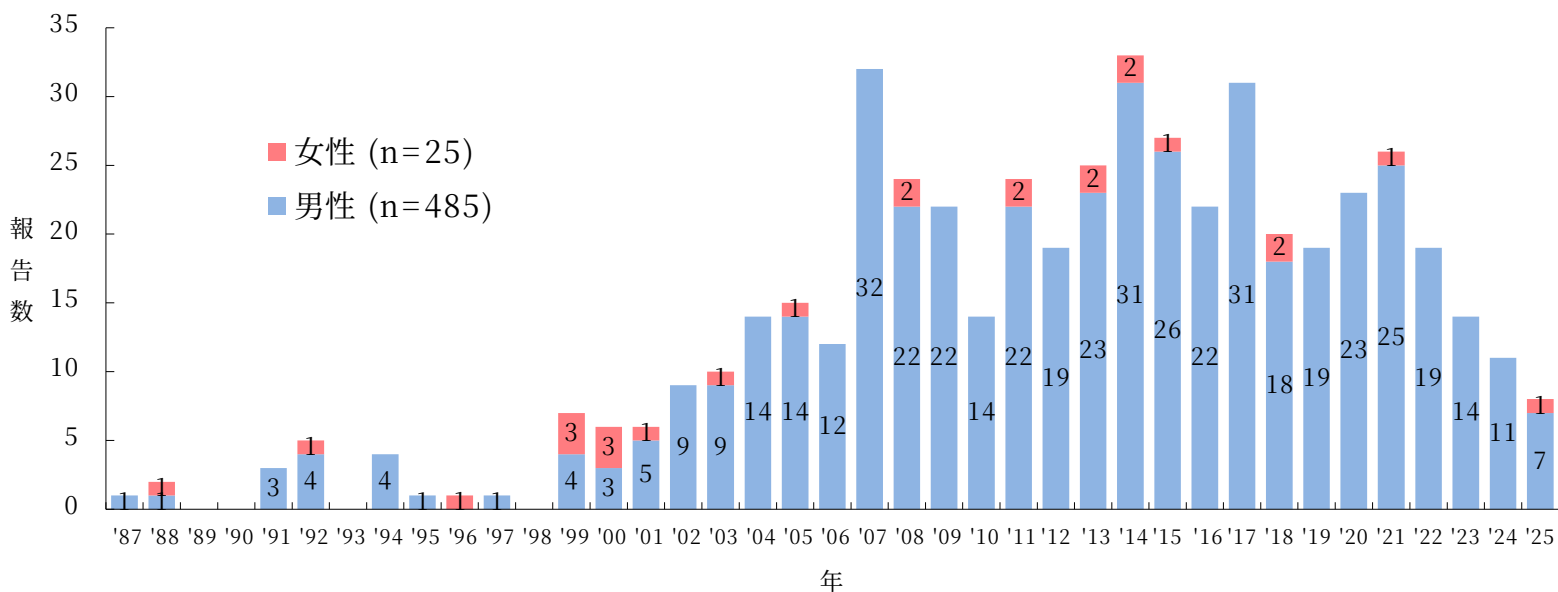
- ・ 2025年は8件（2025年10月26日時点）
 - ・ 診断時にすでにエイズを発症＝「いきなりエイズ」が75.0%（6件）
- ※全国平均は約30%



※2025年は10月26日時点の診断日をベースとした数値

3. 男女別

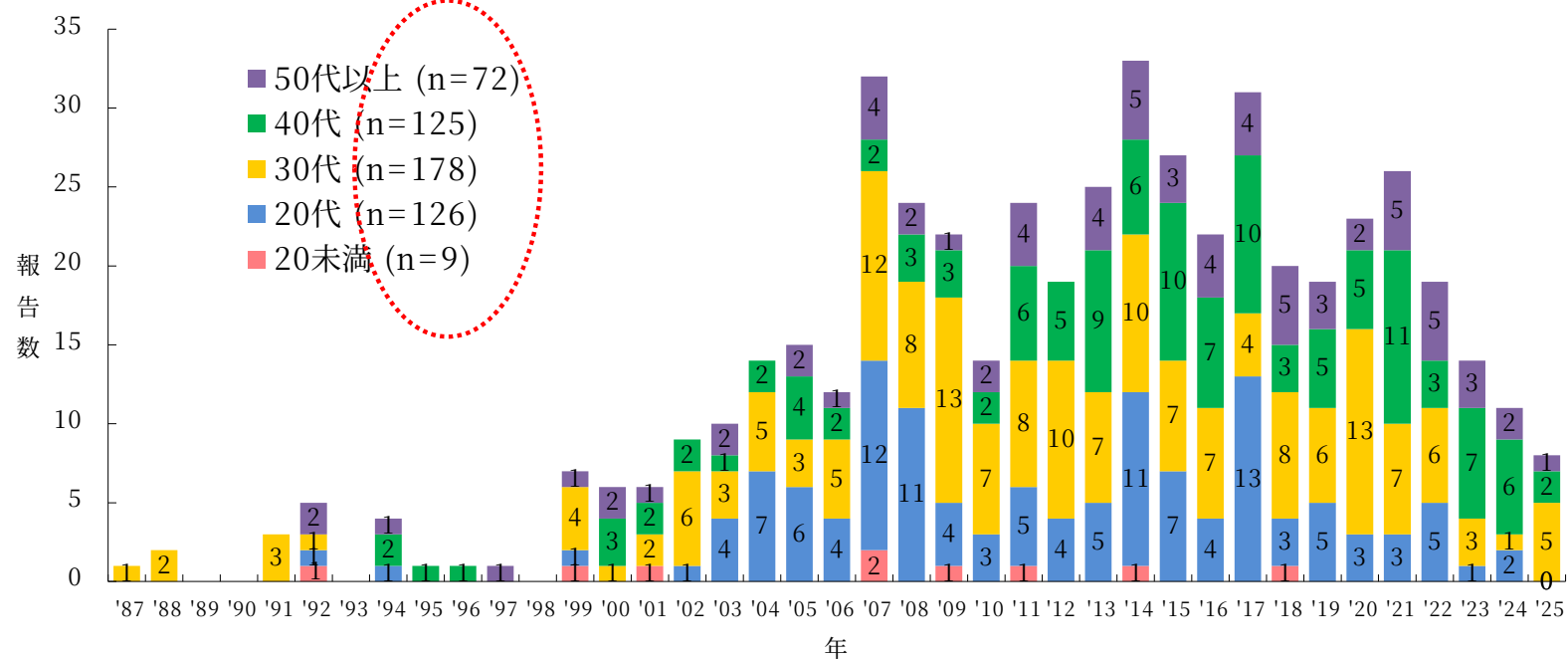
- ・ 2025年は男性7件、女性1件
- ・ 累計では男性が95.1%



※2025年は10月26日時点の診断日をベースとした数値

4. 年代別

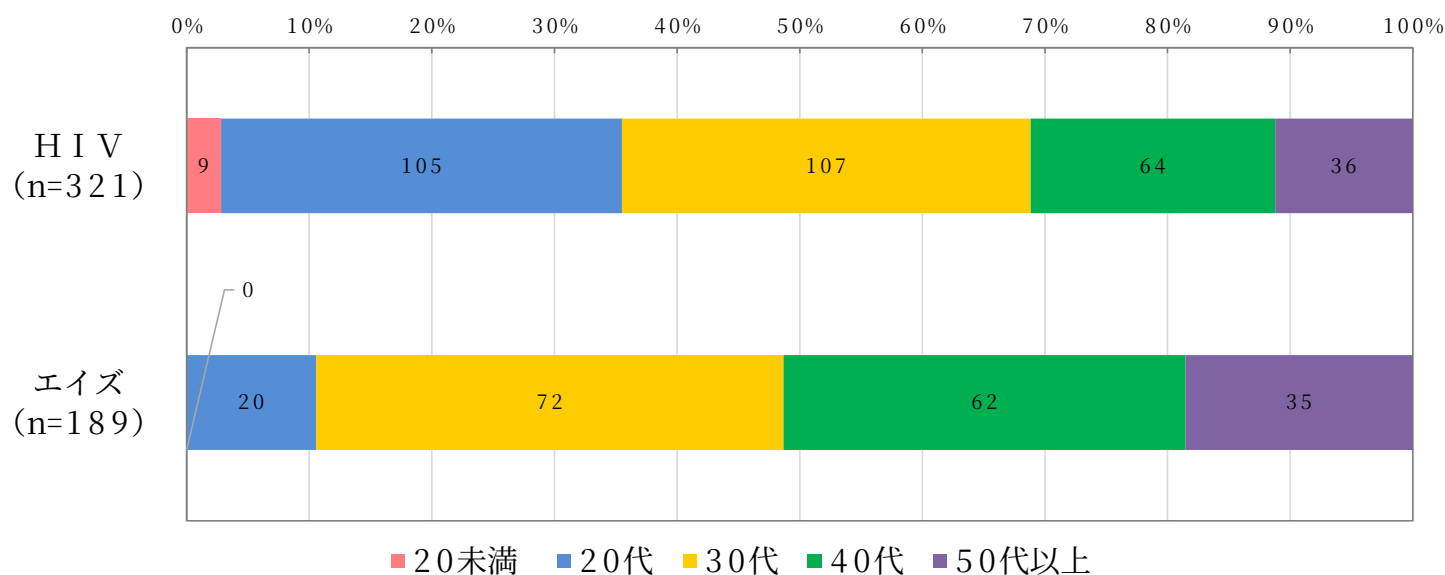
- ・ 20～50代に幅広く分布



※2025年は10月26日時点の診断日をベースとした数値

5. HIV／エイズ年代別内訳

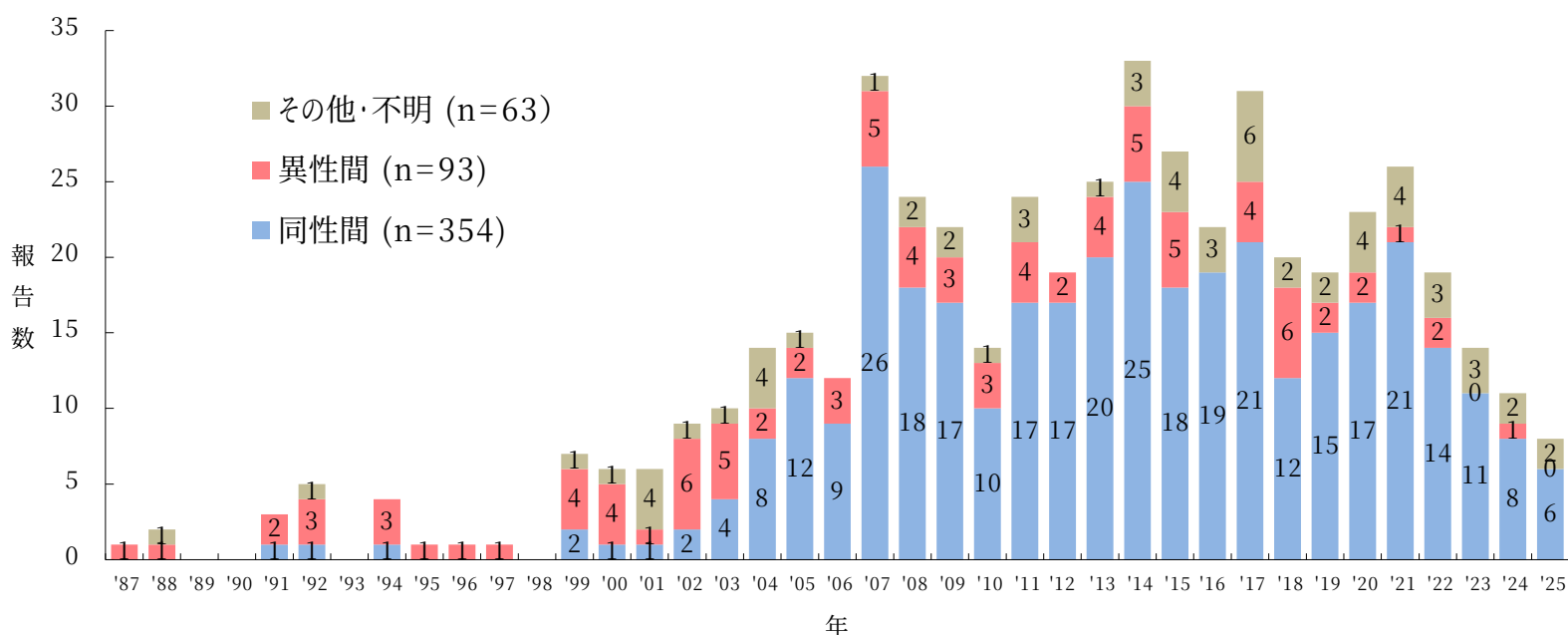
- ・HIV感染者は、20～30代に集中し、全体の約69%を占めています。
- ・エイズ患者は、HIV感染者に比べて40代以上の割合が大きく、全体の50%を占めています。



※2025年は10月26日時点の診断日をベースとした数値

6. 推定感染経路別

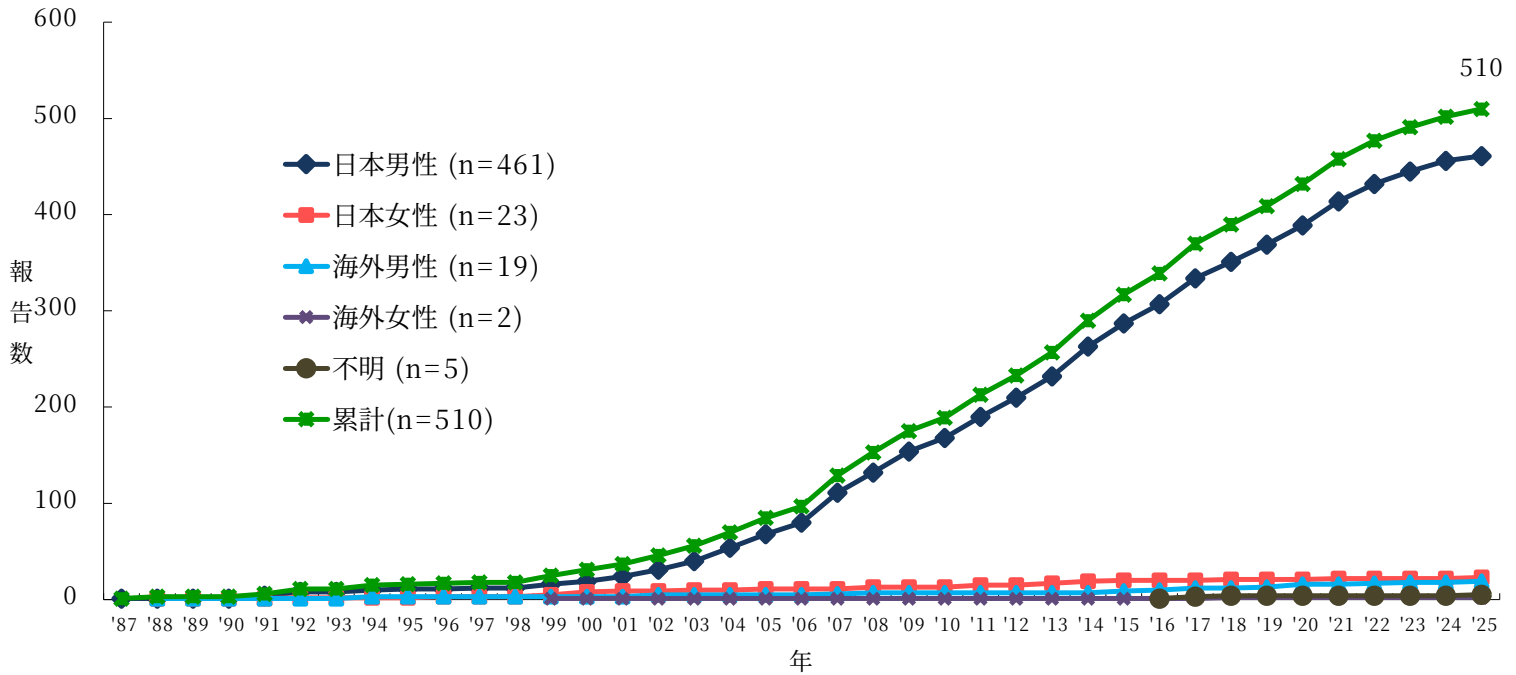
- ・男性の同性間による性的接触感染が約6～9割を占めています。
- ・異性間による性的接触感染もほぼ毎年、数件確認されます。



※2025年は10月26日時点の診断日をベースとした数値

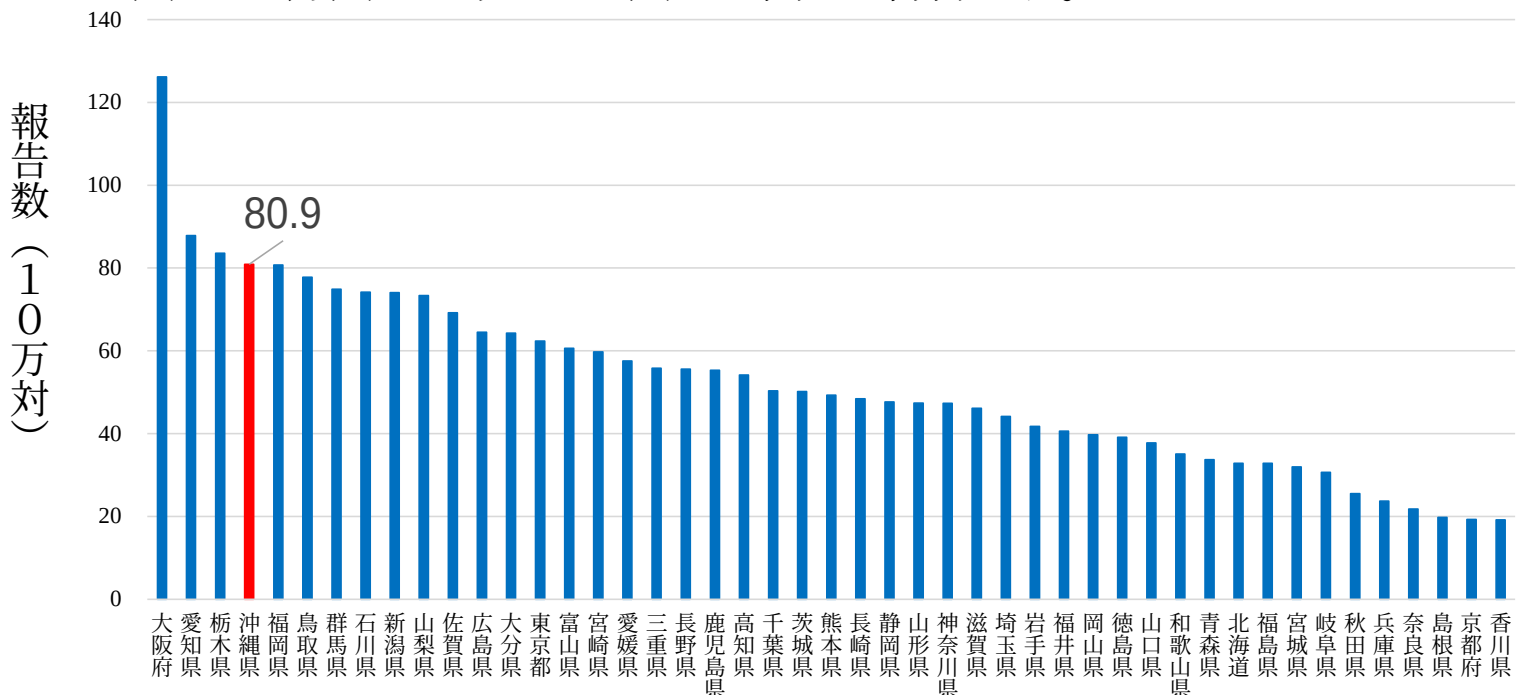
7. 国籍別

- ・日本人男性が全体の90.6%を占めています



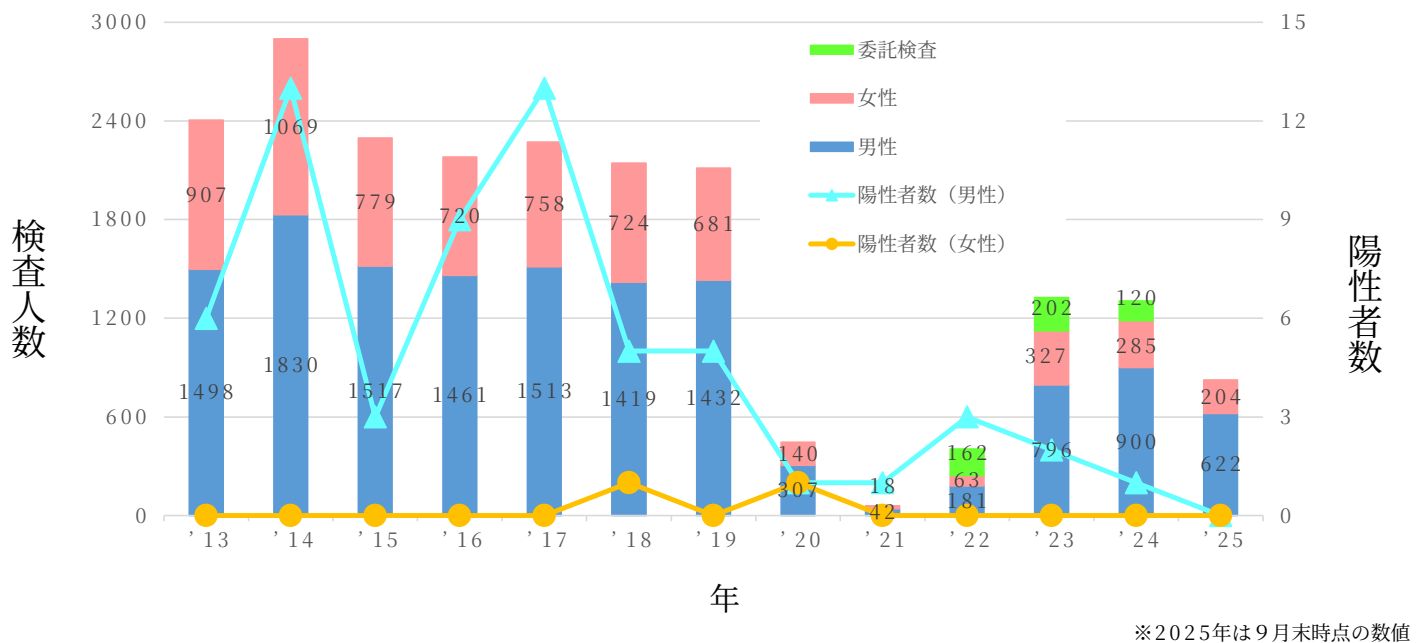
8. 都道府県別 人口10万対 HIV抗体検査件数（2024年）

- ・沖縄県の保健所におけるHIV抗体検査数は1,186件となっており、人口10万人あたり 80.9人で全国で4番目です。



9. 保健所におけるHIV抗体検査件数

- ・ 例年2,000～2,500件で推移し、2020～2022年は新型コロナウイルス感染症への業務対応のため、大幅に減少しました。
- ・ 2025年は9月末時点で検査件数826件（男性 622件、女性 204件）となっています。



梅毒について（1）

- 梅毒トレポネーマという細菌に感染することによっておこる病気です。
- 感染してから3～6週間ほどで、菌が侵入した局所に、痛みがほとんどないしこりや潰瘍ができたり、リンパ節が腫れますが、治療をしなくても数週間でなくなります。
- その後、4～10週間が経過すると、手のひらや足の裏を含む全身の皮膚や口腔内に発疹が出たり、脱毛、発熱や怠さなどの全身症状が出ます。これらも治療をしなくても数週間～数か月でなくなります。
- 上記の症状は再発することもあります。それでも治療せずに数年～数十年が経過すると、体にコブ状のしこりが出来たり、心臓や血管系の症状が出る他、認知症、手足のケイレン、体の麻痺などへ進行する場合があります。
- 妊娠中の女性が感染していると、体内の赤ちゃんへ感染し、流産や死産、出生後の赤ちゃんに難聴や歯の発育異常などの障害が出る原因となります。

梅毒について（２）

■ 感染経路

①性行為、②血液を介しての感染（注射器具の共用など）、③母子感染の3つです。

■ 検査と治療

- ・ 検査： 保健所で無料、匿名で受検できます。医療機関でも受検できます。
- ・ 治療： 抗菌薬で治療ができます。
ただし、完治後も再感染する場合があります。

■ 予防

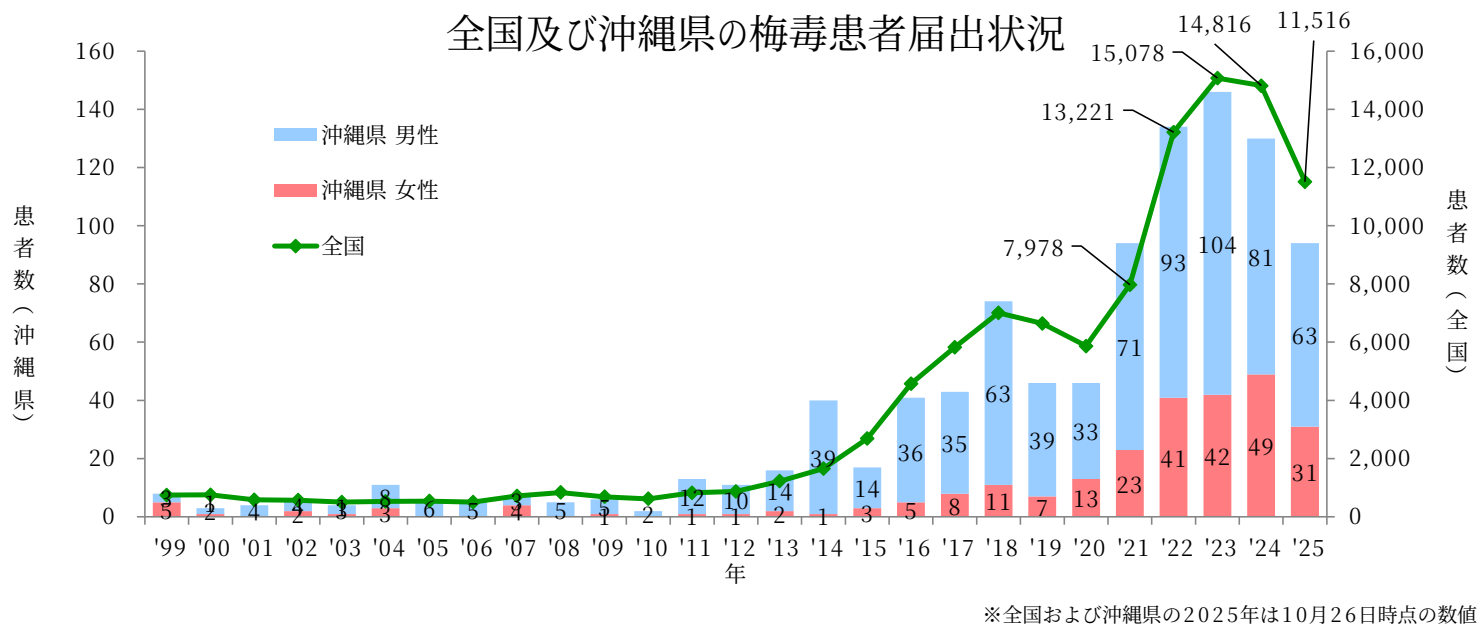
- ・ 梅毒への感染はほぼ性行為によるものです。
- ・ コンドームの正しい使用は効果がありますが、完全な予防はできないため、不特定多数との性行為を避けることが重要です。
- ・ 再感染の予防には、自身とパートナーと一緒に検査と治療を受けることが大切です。

沖縄県の梅毒の状況

（2025年10月26日時点）

1. 梅毒の年別報告数

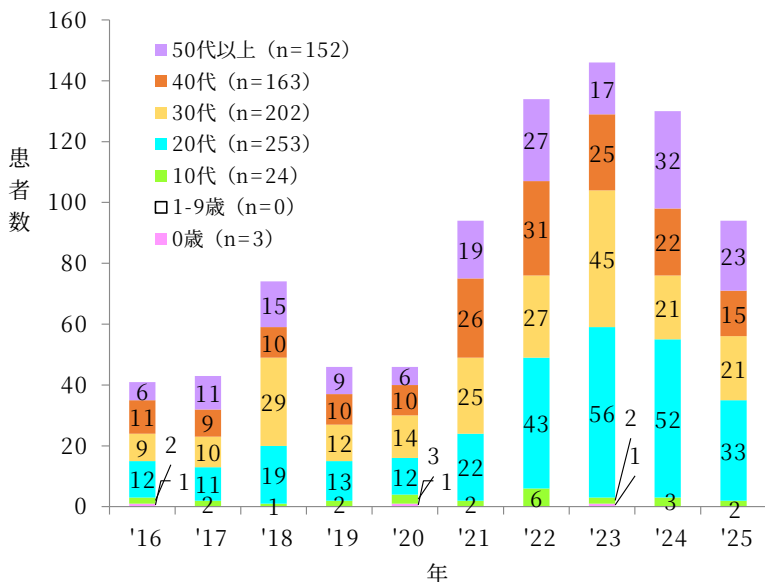
- ・2021年以降、梅毒の報告数は全国的に増加傾向にある
- ・感染症法による届出対象となった1999年以降では、2023年が最多となりました。
- ・沖縄県は、10月26日時点で 94件（男性 63件、女性 31件）
- ・全国は、10月26日時点で 11,516件



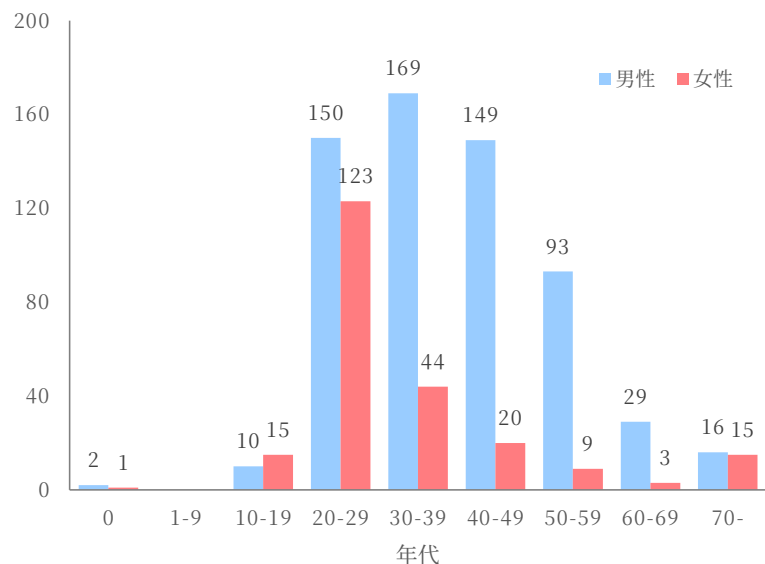
2. 梅毒の年代別報告数

- ・近年では20～50代以上に幅広く分布しています。
- ・2021年以降、県内において男性は20～40代が、女性は20代が多くを占めています。

梅毒患者の年代別届出状況



年代別・男女別 報告数（2016-2025）



※沖縄県の2025年は10月26日時点の数値

保健所H I V・性感染症検査スケジュール（平時）

県内各保健所でHIV・梅毒・クラミジアの検査を、匿名・無料で受けることができます

検査・相談 機関名	問合先 電話番号	検査実施曜日・時間	検査の種類	HIV	梅毒	クラミジア	予約
北部保健所	0980-52-5219	第2・4火曜日 9:00～10:30 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査	○	○	○	必要
中部保健所	098-938-9701	毎週火曜日 9:00～10:30 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査	○	○	○	必要
南部保健所	098-851-3555	毎週木曜日 9:00～10:30 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査	○	○	○	必要
宮古保健所	0980-73-5074	毎週火曜日、木曜日 9:00～11:00、13:00～15:00 予約可能日については直接お問い合わせください	即日検査	○	○	○	必要
八重山保健所	0980-82-4891	毎週火曜日 13:00～14:00、木曜日 9:00～10:00 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査	○	○	○	必要
那覇市保健所	098-853-7972	那覇市ホームページをご確認ください https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/hiv/hivkensa.html	即日検査 通常検査	○ ○	○ ○	× ○	必要

「即日検査」とは、問診・採血を実施してから、1～2時間後に検査結果をお知らせする検査です。

「通常検査」とは、検査日から1～2週間後に検査結果をお知らせする検査です。

保健所H I V・性感染症検査スケジュール（拡充）

エイズデーキャンペーンとして検査日を拡充しています

検査・相談 機関名	問合先 電話番号	検査実施日・時間	検査の種類	HIV	梅毒	クラミジア	予約
北部保健所	0980-52-5219	12/3（火） 13:00～16:30	即日検査	○	○	○	必要
中部保健所	098-938-9701	12/1(月)、12/2(火)、12/4(木) 9:00～10:30 10/25(土) 12:00～16:00	即日検査	○	○	○	必要
南部保健所	098-851-3555	12/1（月）9:00～10:30	即日検査	○	○	○	必要
宮古保健所	0980-73-5074	12/2(火)～12/5(金) 9:00～11:00、13:00～15:00	即日検査	○	○	○	必要
八重山保健所	0980-82-4891	12/1(月)～12/5(金) 9:00～11:00、13:00～15:00	即日検査	○	○	○	必要
那覇市保健所	098-853-7972	12/3（水）～12/5（金）13:00～14:40	即日検査	○	○	×	必要

「即日検査」とは、問診・採血を実施してから、1～2時間後に検査結果をお知らせする検査です。

「通常検査」とは、検査日から1～2週間後に検査結果をお知らせする検査です。

HIV及び梅毒郵送検査の実施について

感 発 0617 第 1 号
令和 7 年 6 月 17 日

〔 都 道 府 県 知 事 〕
各 〔 保 健 所 設 置 市 市 長 特 別 区 区 長 〕 殿

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部長
（ 公 印 省 略 ）

HIV検査・相談事業について

標記については、平成25年3月29日発第0329第19号通知に定める実施要綱に基づき行われているところであるが、今般、同通知の別添「HIV検査・相談事業実施要綱」の一部を別添1の新旧対照表のとおり改正することとしたので通知する。

本事業の実施に当たっては、事業が円滑に実施されるよう貴管内における関係機関等への周知について、特段の御配慮をお願いする。

また、「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」（令和6年度エイズ対策政策研究）において、別添2のとおり「保健所等におけるHIV検査・相談のガイドライン」が第5版として改定された。本ガイドラインについては、特定感染症検査等事業におけるHIV検査・相談事業の中で、全ての保健所等で御対応いただいているものであり、引き続き御参照いただきたい。

さらに、今般、上記ガイドラインのコラムや後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針（平成三十一年厚生労働省告示第九号）において検討の必要性が記載されている郵送検査に関して、厚生労働省において別添3のとおり、「保健所等で実施するHIV郵送検査の手引き」を作成した。本手引きについては、特定感染症検査等事業におけるHIV検査・相談事業の中で、新たな選択肢として位置付けた郵送検査の手引きとして別途作成したものであり、郵送検査を実施する保健所等において御参照いただきたい。

これらの内容についても御了知の上、関係機関等への周知について、特段の御配慮をお願いする。

（別添1）HIV検査・相談事業実施要綱
（別添2）保健所等におけるHIV検査・相談のガイドライン（第5版）
（別添3）保健所等で実施するHIV郵送検査の手引き

- 検査機会の拡充は全国的な課題である中、民間検査会社等で実施されてきたHIV郵送検査は、**受検時間に制限がないという利便**があるとして、その活用に期待がされてきました。
- 特に対面での検査を避けられるという事は、**島嶼県である本県においては、地元の保健所検査は受検しにくいという課題の解消**にも期待がされます。
- 国において、自治体における郵送検査の導入について検討が進められていましたが、令和7年6月17日に厚生労働省より「保健所等で実施するHIV郵送検査の手引き」が示されました。また、全国的に感染拡大中の梅毒もその対象となりました。
- これを受け、**本県においても令和7年度世界エイズデーにあわせてHIV及び梅毒の郵送検査を実施いたします。**

「保健所等で実施するHIV郵送検査の手引き」 が示すフローチャート

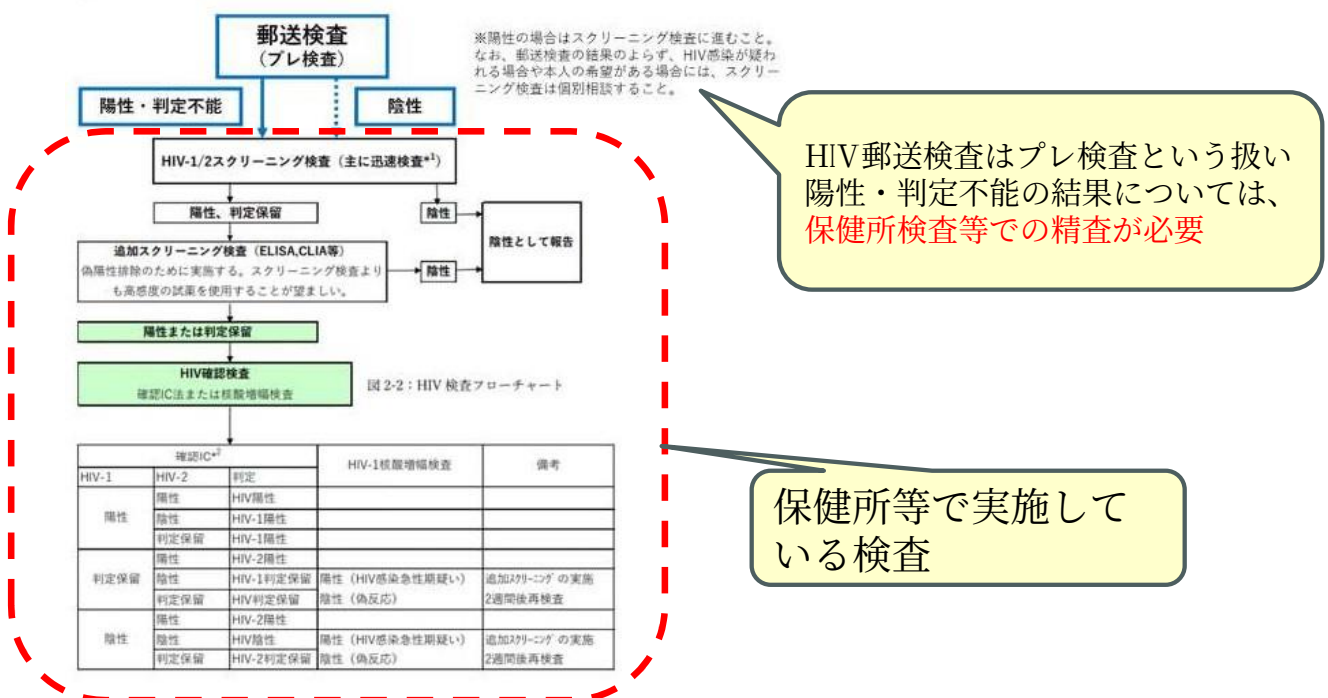
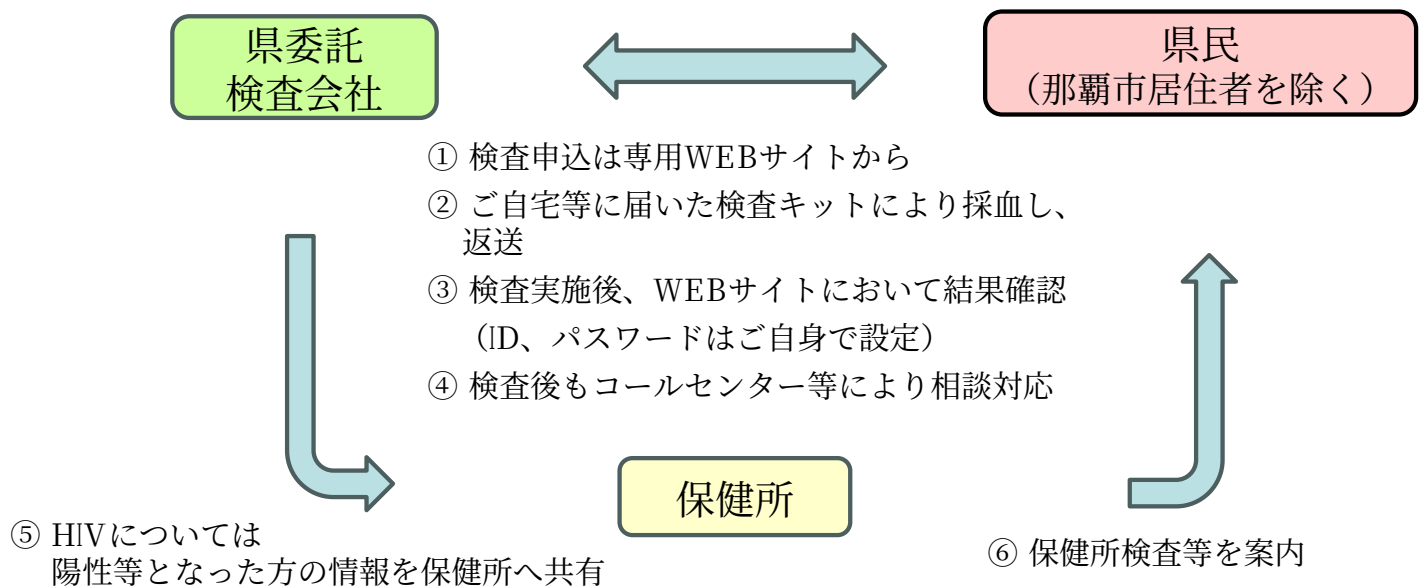


図 2 HIV 検査フローチャート例

本県におけるHIV及び梅毒郵送検査の利用の流れ（予定）



本県におけるHIV及び梅毒郵送検査の対象者等（予定）

- 対 象 者：那覇市居住者を除く沖縄県民
- 検 査 数：100件
- 申込方法：専用WEBサイトより（URLは調整中）
- 受付開始時期：12月1日予定（調整中）
- 検査費用：検査キット送付及び返送代は受検者負担（550円、税込を予定）
- 匿名受検：匿名可。ただし、検査会社等からの連絡用にメールアドレス、電話番号が必要

専用WEBサイトのURL等、調整中の事項は後日、
プレスリリース等にてお知らせします